

令和7年2月吉日

一社)日本循環器学会
代表理事 小林 欣夫

寄付金趣意書

近年、我が国で慢性血栓塞栓性肺高血圧症 CTEPH (chronic thromboembolic pulmonary hypertension) 症例に対して肺動脈バルーン形成術 (BPA: balloon pulmonary angioplasty) が行われ、症状、血行動態、生命予後が改善することが報告されていますが、全国での大規模なエビデンスが十分構築されていません。そのため BPA の全国的な治療実態を調査し、手技の効果、安全性のみならず抗凝固療法や肺高血圧症治療薬等の内服薬等の使用についても詳細に解析、検討することが必要です。日本循環器学会は今後の国内での BPA の効果的、安全な治療を継続し、より発展するためには BPA レジストリーを継続し、有効性、安全性のエビデンスを継続して発信する責務があります。また本会は BPA の指導医、実施医そして実施施設基準を設定しており、本レジストリーの登録がその認定に使用されます。この J-BPA レジストリーは国内施行医および施設を認定し、より BPA および CTEPH 診療を発展させ、安全な BPA を継続して施行し、CTEPH 患者の予後、QOL を改善するためにも必須なレジストリーとなります。

2023年3月末(令和4年度末)をもって AMED 研究としては一旦終了し、2023年4月以降から新しい BPA レジストリーシステムに移行いたしました。さらに今後継続する財政基盤が不十分である為、レジストリーを継続する趣意に、ご理解、ご賛同賜り、ご支援、ご高配を賜りたく、お願い申し上げる次第です。最後に貴社が本会へ支払う寄附金について、各社の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、貴社のホームページ等にて情報公開することに同意いたします。